

謹啓

先日は、代表取締役社長の就任挨拶に来静していただきありがとうございました。

面談の際に、貴職の本県との御縁を教えていただいたこと、また、科学的・工学的議論が大切だということが共通理解であると確認できたことを大変、心強く思っております。

さて、昨年6月に以下のとおり水資源、環境保全の重要性について示された一連の動きがありました。(別添1)

- ① 6月3日 リニア中央新幹線建設促進期成同盟会決議
 - ② 6月7日 経済財政運営と改革の基本方針2022(閣議決定)
 - ③ 6月16日 自由民主党/政務調査会 総合政策集2022 J-ファイル
- これら国等の動きを是非念頭において頂きたいと存じます。

最近の動きとして、本県は、閣議決定等の趣旨に則り、専門部会等で高速長尺先進ボーリング(以下「ボーリング」)によって、静岡県地下水が山梨県側に流出する懸念を繰り返し説明してまいりました。貴職が、代表取締役社長に就任されることが発表された令和5年1月11日以降、本県中央新幹線対策本部長である副知事から、貴社副社長あてに別添のとおり意見してまいりました。(別添2~3)

ところが、現状では、本県が意見書で求めた要請に応じていただけっておりません。このままボーリングが進んでしまう懸念に対し、本日、改めて、本県中央新幹線対策本部長から貴社副社長あてに「山梨県側から県境付近に向けて実施する高速長尺先進ボーリング計画について」を発出いたしました。(別添4)

貴職には、本県が強く要請申し上げているボーリングについての懸念を十分に御理解していただくとともに、貴社副社長を中心として、本県との対話に真摯に対応いただきたいと思っております。本県の要請に応えることなく、一方的にボーリングを進めることのないよう改めて強く申し上げます。

謹白

令和5年5月11日

東海旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 丹羽 俊介 様

静岡県知事 川勝 平太